







第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なKPI	計画書
新規計画 10件						
1	北海道函館市 	福祉コミュニティエリア整備事業(生涯活躍のまち形成事業)	函館市の区域の一部(日吉町4丁目の一部で市営住宅団地跡地)	本事業は、地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、住まいや医療・介護・予防・生活支援サービスが一体的に提供される仕組みづくりを行うとともに、年齢や障がいの有無に関係なく、子どもからお年寄り、子育て世代などが自然と交流できるまちづくりを行い、多世代交流施設を中核に地域コミュニティの創出を図る。また、住民が相互に支えあい、住民が主体となって活動できるような環境整備の仕組みづくりを行う。	○福祉コミュニティエリアにおける居住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 500人 ○福祉コミュニティエリアにおける市外からの移住者数 :平成28年度 0人 → 平成37年度 50人	○
2	青森県弘前市 	アクティブシニアが活躍するひろさきセカンドライフ・プロジェクト	弘前市の全域	本プロジェクトは、弘前市のまちの魅力に共感するとともに、地域課題の解決に貢献する意欲のあるアクティブシニアの移住を受け入れ、地域住民をはじめとする多様な主体と交流・協働しながら就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築しようとするものである。	○弘前版生涯活躍のまち移住者数(累計) :平成27年度 0人 → 平成32年度 70人 ○市の移住サポートセンターで受け付けた50歳以上の相談者数(各年度の相談者数) :相談者数100人(平成28年度から32年度までの累計)	○
3	茨城県稲敷郡阿見町 	あみプラチナタウン～人と自然が織りなす首都圏近接型の生涯活躍のまち～	茨城県稲敷郡阿見町の区域の一部(荒川本郷地区)	阿見町は、都心から約1時間でアクセス可能な自然豊かな田園都市である。 二地域居住することが可能な60代のアクティブシニアをメインターゲットに、東京圏からの移住を促進することによって、町の社会資源と自然環境が調和した、社会参加型の生涯活躍のまち「あみプラチナタウン」を形成する。 地域住民、医療機関、介護施設、大学などの相互連携によるサービスメニューの強化により、移住者が移住者間のみならず、地域社会に溶け込み、多世代との協働や地域貢献することが可能な環境と地元の雇用を創出する。	○東京圏からのアクティブシニアの移住相談件数(移住相談件数) :平成33年度までに650件 ○東京圏からのアクティブシニアのお試しツアー参加人数(ツアーの参加者数) :平成33年度までに325人 ○東京圏からのアクティブシニアの移住人数(移住人数) :平成33年度までに90人	○

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なKPI	計画書
新規計画 10件						
4	石川県白山市 	多世代参加による 生涯健康・活躍を 目指す「ごっちゃ」プロ ジェクト	白山市の区域の 一部(出城地区)	白山市、社会福祉法人佛子園、学校法人金城学園金城大学の3者が相互に連携・協力し、社会福祉法人佛子園本部の拠点となっている白山市の区域の一部である出城地区を対象に、タウン型・大学連携型CCRCの実現を目指す。希薄になりつつある地域や世代間の関係性を解消し、安心・安全で文化的な生活をし、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、社会福祉法人佛子園の多機能施設を中核とし、高齢者・子ども・障害者・学生などが「ごちゃまぜ」で暮らせる地域・多世代交流等を支援する取組によるまちづくりに取り組む。	○北安田町(出城地区の一部)の世帯数 :平成28年度 630世帯 → 平成32年度 660世帯	○
5	山梨県都留市 	生涯活躍のまち・つる 推進事業	都留市の区域の 一部(下谷地区 及び田原地区)	本市の特長である市内に立地する3大学等と、民間事業者等と連携し、元気な高齢者を地域に呼び込む「生涯活躍のまち・つる」を展開することにより、新規雇用の創出と、高齢者をターゲットとした地場産業・新規創業の仕組みとネットワーク化を図る。また、本市への移住者に対しては、大学相互・大学と市の連携を行い、質の高いプログラムや、社会的活動への参加のきっかけづくりを提供する。このことにより、地域全体の総合力を向上させ、ひいては『市民全体の豊かな暮らし』を実現させることを目標とする。	○生涯活躍のまち・つるに伴う移住者数 :H29年3月末 0人→H33年3月末 150人 ○お試し居住の体験者数 :H29年3月末 20人→H33年3月末 100人	○
6	長野県佐久市 	臼田地区生涯活躍 のまち計画	佐久市の区域の 一部(臼田地区)	佐久総合病院を中心に住民とともに育んできた地域医療の歴史、地域と一体となった保健予防活動などによる全国トップレベルの「健康長寿」の実現、地域包括ケアが充実している強みと、就業やボランティア活動、生涯学習活動など社会活動参加へのワンストップでの体制を構築することで首都圏等の中高年齢者の移住を促し、移住者が地域社会との共働により、相互が主体として「愛され、褒められ、期待され、期待に応える」幸福のサイクルを体現し、必要に応じて医療・介護を受けながらずっと住み続けることができるまちを実現する。	○移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数:(※住まい整備が整うまでは移住相談件数) :平成28年度末 200件(相談件数) 平成29年度末 200件(相談件数) 平成30年度末 40世帯(世帯数)	○

第39回認定(平成28年8月30日) 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)の概要

番号	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の 区域の範囲	地域再生計画の概要	主なKPI	計画書
新規計画 10件						
7	兵庫県三木市 	多世代共生による 都市近郊型のまち の再生～みんなが 輝く 生きがいある まち 三木～	三木市の区域の 一部(三木市緑 が丘町)	三木市は、高度成長期に開発された住宅団地が、開発後45年以上となり高齢化・空洞化が進み、消滅の危機を迎えている。全国的に例のない戸建住宅団地の再生によりまち全体を活性化するため、土地利用見直し、団地内住み替えの促進、少子高齢社会に対応した各種生活支援サービスの創出などを進め、団地の魅力を大幅に高めるとともに、生涯活躍のまちづくりにより大都市圏からの移住を促進し、人口バランスを整え多世代が交流・共生し、いきいきと暮らせる持続可能なまちづくりを推進する。	○戸建住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 2世帯→H32年度 100世帯 ○整備集合住宅への移住世帯数(累計) :H28年度 0世帯→H32年度 100世帯	○
8	鳥取県西伯郡南部町 	南部町版生涯活躍 のまち推進プロジェ クト	鳥取県西伯郡南 部町の全域	当町の地域特性を生かし、都市圏に住むアクティブシニアが自らの希望に応じて移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、多世代と交流しながら継続的なケア体制を確保することで、地域が求める人材を都市部から誘致し、地域住民と一緒に地域活性化に向けた取組を行うことを目指すもの。	○南部町への転入数 :平成27年度(年間310人)比較で平成33年3月末 までに累計200人増	○
9	岡山県勝田郡奈義町 	自然とアートの「生 涯『総』活躍のまち」 づくり計画	岡山県勝田郡奈 義町の全域	奈義町では、進学や就職を機に若い世代が町外へ流出し、人口減や高齢化が進んでいる。 中山間地域の小規模自治体であっても、町の強みである「自然」と「アート」を活用し、奈義町でしか体験できない社会的活動や理想的な住まい、継続的なケアを提供し、地域の自然・文化・歴史等を踏まえた「タウンブライド」の下で、年齢や性別、障害や課題の有無等に関わらず、全ての町民や訪れた人が、自分らしい「豊かな暮らし」「豊かな時間」を過ごすことができる、「生涯『総』活躍」のまちづくりに取り組み、偏りのない構成での人口維持を目指す。	○社会増 :平成28年度 50人 → 平成32年度 150人	○
10	大分県別府市 	日本中の癒しをす べて集めたまち-温 泉と医(いや)しと学 びへの誘い-	別府市の全域	「生涯活躍のまち」の実現に向けて、「生涯活躍のまち基本指針」の策定、運営推進法人の選定に取り組む。 「生涯活躍のまち形成事業計画」を策定し、中高年齢者の社会的活動への参加の推進、高齢者に適した住宅の整備、継続的なケアの提供体制の確保、移住支援、地域社会(多世代)交流・協働、生活全般のコーディネートなどに取り組む。	○50歳以上の社会増(平成28年度から平成32年 度までの累計) :50人以上	○